



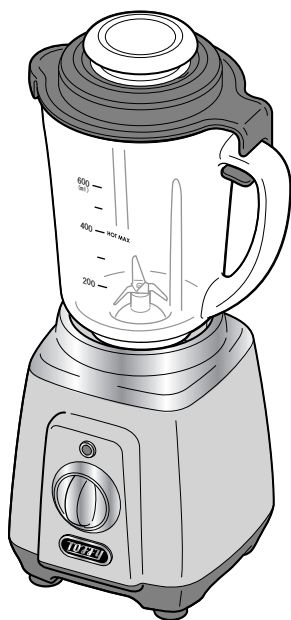
耐熱ガラスブレンダー

品番：K-BD5

家庭用

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	6
各部の名称	7
ご使用前に	8
使いかた	13
お手入れのしかた	21
故障かなと思ったら	22
製品仕様	24
保証書	24



おすすめレシピは
ホームページまで！

ユーザーズガイド


このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。


LADONNA

安全上のご注意


●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）


本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

 **警告** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。


 **注意** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。

 してはいけない「禁止」内容です。

 必ず実行していただきたい「強制」内容です。

■電源プラグ・電源コードについて


 めれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。


電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

破損した電源コードの修理をしない。
火災・感電・ショート・発火の原因となります。

電源コードを巻き付けたまま・束ねたまま使用しない。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

電源プラグや電源コードが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・火災の原因となります。

 電源プラグや電源コードを水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。
感電・破損の原因となります。

 交流 100 V・定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発火の原因となります。


電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取る。
ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。


電源プラグや電源コードが破損した場合、直ちに使用を中止する。
すぐにお買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口へ点検・修理をご相談ください。
感電・ショート・火災の原因となります。




警告


注意

 使用後、電源コードを製品に巻き付けない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

 電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜く。
感電・ショートの原因となります。

 使用時以外は、電源プラグをコンセントからはずす。
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。

■ 取り扱いについて

 本体の分解や改造はしない。
火災・感電・けがの原因となります。

本体や各接続部のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。

異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）には、単独で使用させない。また、製品で子供が遊ばないように注意する。

感電・けが・やけどの原因となります。

本体を水に浸したり、水をかけたりしてぬらさない。

火災・ショート・感電・故障の原因となります。

本体や各部品に衝撃を加えない。


破損してけがや故障・火災・感電の原因となります。

調理以外の目的に使用しない。

火災の原因となります。

ガラスジャーの中に食材以外のものを入れない。

けが・故障の原因となります。


 カッターに直接手を触れない。
けがの原因となります。

お手入れのときは、シンナー・ベンジン・アルコール・研磨剤、塩素系成分を含んだ洗剤などを使用しない。

変色・変形・感電・破損の原因となります。

60℃以上の熱い食材、膨張する食材は、HOT MAX ライン（400mL）以上の量を入れない。

吹きこぼれ・けが・やけどの原因となります。

 ご使用中に下記のような異常を感じた場合は使用を中止する。

・本体が異常に熱い

・焦げくさい

・異常な動作をする

発火・けがの原因となります。

電源プラグをコンセントに差し込む前に操作スイッチがOFFの位置になっていることを確認する。

けがの原因となります。

お手入れの際は必ず操作スイッチをOFFの位置にし、電源プラグをコンセントから抜く。

火災・けが・やけどの原因となります。

警告

安全上のご注意 (続き)

警告

- ❗ **破損したとき、破損が疑われるときは、すぐに電源を切り、使用を中止する。**
そのまま使用を続けると、火災・感電・けがの原因となります。

- ❗ **持ち運びやガラスジャーの取り付け・取りはずし、お手入れは、カッターの回転が完全に止まってから行う。**
火災・やけどの原因となります。

- ⊘ **本製品は一般家庭用です。業務用として使用しない。**
火災・故障の原因となります。

破損や変形、ぐらつきやがたつきがあるときは絶対に使用しない。
感電・けが・故障の原因となります。

温度の高いところや火気のあるところ、直射日光が当たる場所では使用・保管しない。
故障・変形の原因となります。

不安定・滑りやすい場所や水気・振動に弱いところで使用しない。
けが・故障の原因となります。

使用中は製品から離れない。
発火・火災の原因となります。

使用中は持ち運びしない。
けがの原因となります。

製品の上や下に燃えやすいものを置いたり敷いたりしない。
火災の原因となります。

本来の使用法以外の目的・用途に使用しない。
ユーザーズガイドの内容以外に使用したり、誤った方法で使用したときは、けが・故障の原因となります。

金属製のへらや箸、ナイフなどを使用しない。
ガラスジャーを傷つける原因となります。

- ⊘ **壁や家具の近くで使用しない。**
食材の飛び散りにより周囲を汚損する原因となります。

空運転はしない。
破損・故障の原因となります。

調理物を入れたままにしたり、汚れ等を付着したままにしない。
故障の原因となります。

外部タイマーや個別の遠隔操作システムと一緒に使用しない。
火災・やけどの原因となります。

本体とガラスジャー以外の水洗いできる部品は、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しない。
変色・変形・劣化や破損などの原因となります。耐熱温度は各部品によって異なりますが、ガラスジャー以外の水洗いできる部品は60°C以上のお湯でお手入れしないでください。

キャップ・ふたがしっかり取り付けられていない状態やキャップ・ふたをしていない状態で使用しない。
けがの原因となります。

専用部品以外は使用しない。
誤作動して思わぬ事故の原因となります。

本体の底面にある通風口をふさいだまま使用しない。
破損・故障の原因となります。

注意



ガラスジャー・各部品は冷蔵庫に入れたり、電子レンジや他の熱源（オープン、直火、IH など）で使用したりしない。
破損・けがの原因となります。

割れたり、ヒビの入ったガラスジャーは絶対に使用しない。
故障・破損・けがの原因となります。

ガラスジャーが傷つくような固い食材を調理しない。
破損・故障・けがの原因となります。

最大調理容量（600mL）を超える食材を入れない。
故障・破損・けがの原因となります。

保護スイッチを細い棒などで押さない。
スイッチが入ったままですと、回転部が回転し、けがの原因となります。



カッター・ふたにそれぞれパッキンを取り付けて使用する。
食材の飛び散りにより周囲の汚損・液漏れ・パッキンの破損・けがの原因となります。

一回の使用時間は定格時間（2分）以内にする。
続けて使用する場合は30分以上休ませた後、再度ご使用ください。故障・破損・発火の原因となります。



食材が引っかかり回転できなくなると、本体の保護のため運転が停止するが、その際はカッターが完全に停止してから、ガラスジャーを本体から取りはずし、食材を減らす。
故障・破損の原因となります。

カッターの切れが悪くなったり、本体以外の部品に傷、損傷を見つけた際は使用するのを止め、新しいものと交換する。
各部品は消耗品です。

使用後は必ず毎回お手入れし、乾燥させる。
使用後そのままにしておくと、カビやサビなどの原因となります。

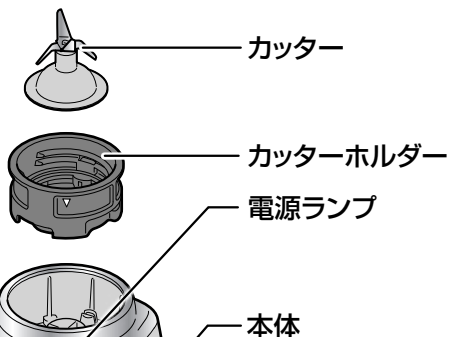
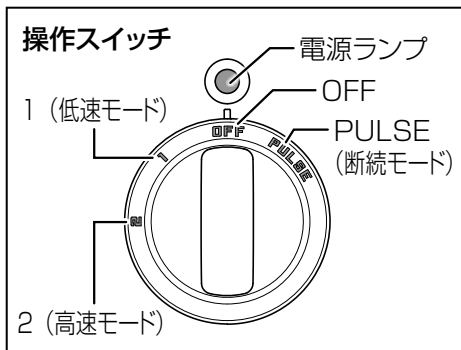
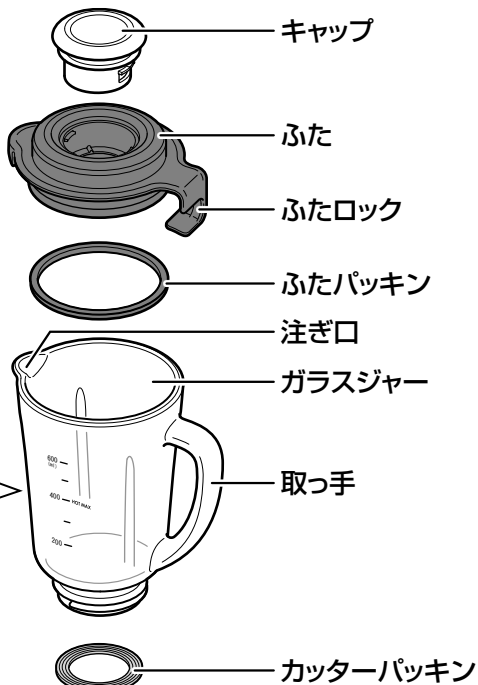
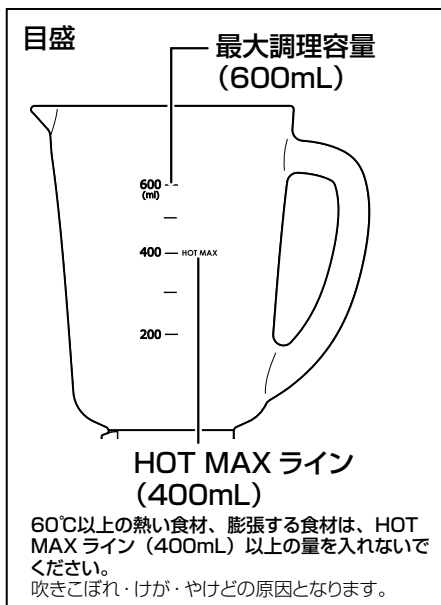
調理後、カッターが完全に停止したことを確認してから、ガラスジャーを本体から取りはずす。
回転中にガラスジャーを取りはずすと、カッターホルダーの回転部と本体の回転部を接合する部分が削れ、部品の破損や故障の原因となります。

使用上のご注意

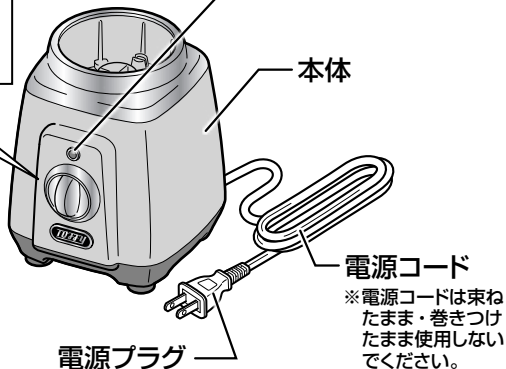
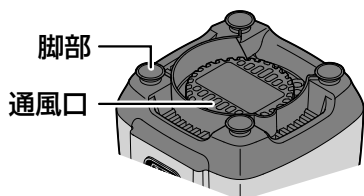
- 本製品は一般家庭用です。その他の用途には使用しないでください。
- 使用前に損傷した部品がないか点検してください。
 - ・刃の破損、刃こぼれ、ヒビ割れなどがないかを確認してください。
 - ・ガラスジャーにヒビ割れや大きな傷がないかを確認してください。
 - ・パッキンの破損がないかを確認してください。
- カッターの切れが悪くなったり、本体以外の部品に傷、損傷を見つけた際は使用するのを止め、新しいものと交換してください。各部品は消耗品です。
- 不安定な場所で使用しないでください。けが・破損の原因となります。
- 屋外で使用しないでください。故障の原因となります。
- 温度の高いところや火気のあるところ、直射日光が当たるところでは使用・保管しないでください。故障・変形の原因となります。
- 壁や家具の近くで使用しないでください。食材の飛び散りにより周囲を汚損する原因となります。
- 必ず液体と一緒に調理してください。故障・破損の原因となります。
- 食材がカッターにからまったときは運転を停止してください。カッターが完全に停止してからガラスジャーを本体から取りはずし、食材を減らしてください。そのまま運転を続けると、故障の原因となります。
- ふたパッキンやカッターパッキンを必ず正しく取り付けてください。液漏れ・パッキンの破損の原因となります。
- 調理できない食材を使わないでください。故障・破損の原因となります。調理できない食材は12ページを参照してください。
- 本体とガラスジャー以外の水洗いできる部品は、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。変色・変形・劣化や破損などの原因となります。耐熱温度は各部品によって異なりますが、ガラスジャー以外の水洗いできる部品は60°C以上のお湯でお手入れしないでください。
- ガラスジャーに調理物を入れたまま保存しないでください。部品の劣化・故障の原因となります。
- 使用後は必ず毎回お手入れして乾燥させてください。部品をそのままにしておくと、カビやサビなどの原因となります。
- 最大調理容量（600mL）を超える食材を入れないでください。故障・破損・けがの原因となります。
- 60°C以上の熱い食材、膨張する食材は、HOT MAXライン（400mL）以上の量を入れないでください。吹きこぼれ・けが・やけどの原因となります。
- 一回の使用時間は定格時間（2分）以内にしてください。続けて使用する場合は30分以上休ませた後、再度で使用ください。故障・破損・発火の原因となります。
- お手入れのときは、シンナー・ベンジン・アルコール・研磨剤、塩素系成分を含んだ洗剤などを使用しないでください。変色・変形・感電・破損の原因となります。
- 食材の入れすぎ、少なすぎにご注意ください。故障・破損の原因となります。
- 空運転はしないでください。故障・破損の原因となります。

各部の名称

■ 製品正面



■ 本体底面



ご使用前に

はじめてご使用になるとき、または長期間使用していなかったときは、本体とガラスジャー以外の各部品を水洗いして乾燥させてからご使用ください。

(21 ページ「お手入れのしかた」を参照してください。)

本体とガラスジャー以外の水洗いできる部品は、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。

変色・変形・劣化や破損などの原因となります。耐熱温度は各部品によって異なりますが、ガラスジャー以外の水洗いできる部品は 60°C 以上のお湯でお手入れしないでください。

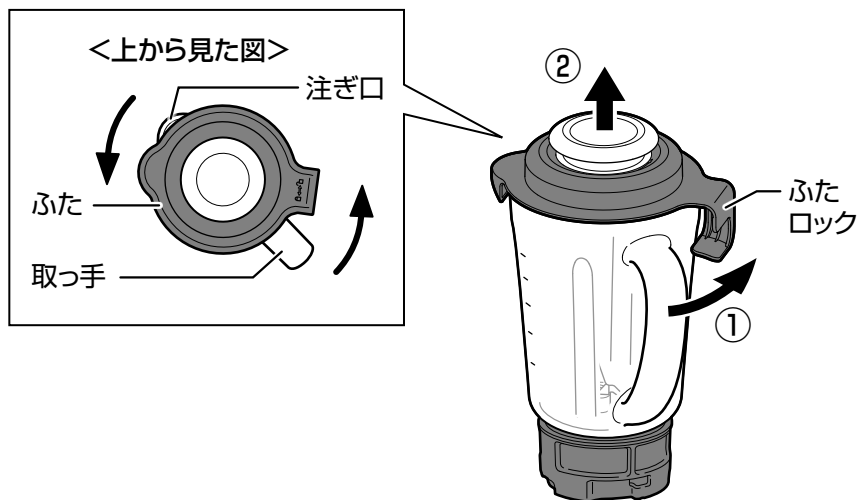


注意

- 本体は防水処理されていませんので、絶対に水につけないでください。故障の原因となります。
- お手入れの際は必ず操作スイッチを OFF の位置にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・けが・やけどの原因となります。

ふたの取りはずしかた

ふたを反時計回りに回してふたロックのロックを解除し、取りはずしてください。



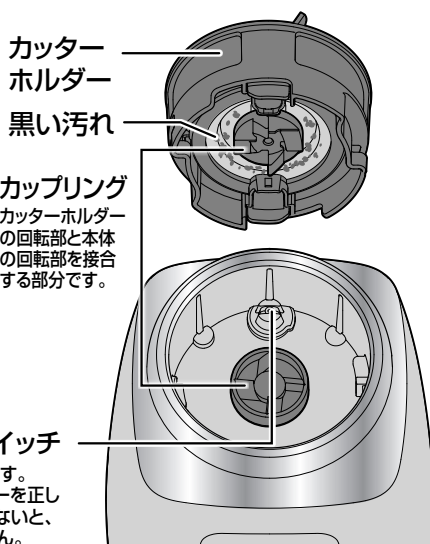
カップリングについて

本製品のクッターホルダーのカップリングはゴム製です。ご使用中に摩耗し、カップリングのまわりに黒い粉が付着することがありますが異常ではありません。

※黒い汚れは運転中に押し出された水分と回転部軸の潤滑油です。

汚れが目立つ場合は、乾いた布などで拭き取ってください。また、以下の状態で使い続けると、カップリングの摩耗が進んで、カップリング同士が滑り、ゴムが削れて飛散することがあります（発火による煙ではありません）。

- 本体のカップリングと正しく接合されていない状態
- 長期間にわたる過負荷状態



サーモスタット（温度調節器の動き）

本製品には、モーターの過熱を防ぐため、自動的に電源が切れるサーモスタットが搭載されています。

定格時間以上の使用により、モーターが高温になると動作が停止します。

⚠ 注意

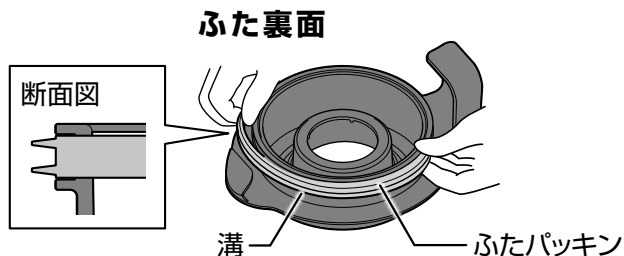
モーターに負荷がかかり過ぎると保護装置が働き一時停止します。停止した後は、以下の手順を厳守して取り扱ってください。

- 1 操作スイッチを OFF にしてください。
- 2 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 3 ガラスジャーを本体からはずしてください。
- 4 本体を 30 分以上自然冷却してください。

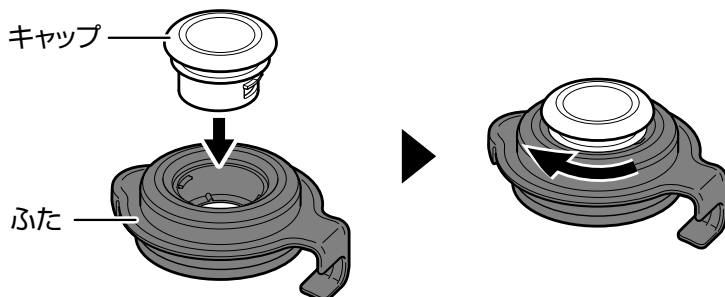
ご使用前に (続き)

組み立て

- 1 ふたパッキンをふたの溝に取り付ける。**
お買い上げ時、ふたパッキンはふたに取り付けられています。



- 2 キャップをふたに差し込み、時計回りに動かなくなるまで回す。**

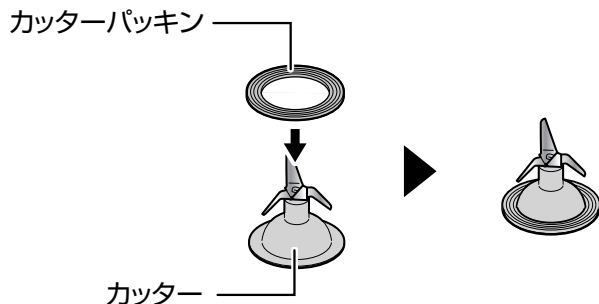


注意

ふたにふたパッキンが正しく取り付けられていることを確認してください。
正しく取り付けられていない場合、食材の飛び散りにより周囲の汚損・パッキンの破損・けがの原因となります。

3 カッターパッキンをカッターに取り付ける。

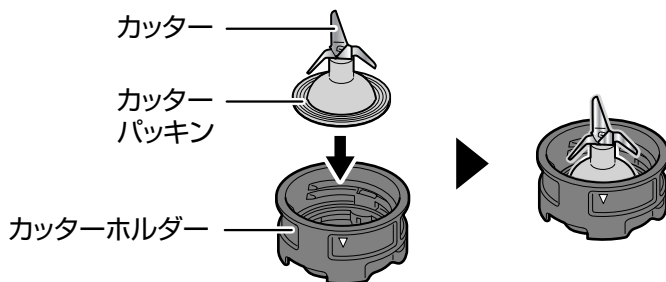
お買い上げ時、カッターパッキンはカッターに取り付けられています。



⚠ 注意

- カッターに直接手を触れないでください。
けがの原因となります。
- パッキンを取り付ける際、カッターで傷をつけないようにご注意ください。
- カッターパッキンが正しく取り付けられていることを確認してください。
正しく取り付けられていない場合、液漏れやパッキンの破損・けがの原因となります。

4 カッターをカッターホルダーに取り付ける。

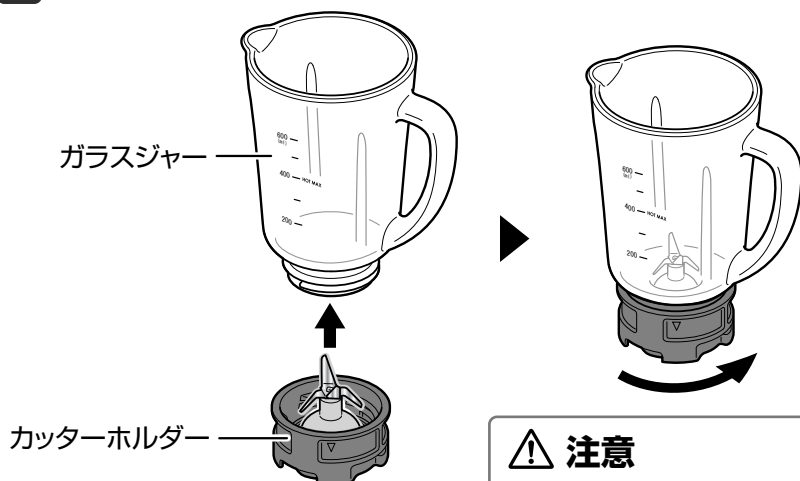


⚠ 注意

カッターに直接手を触れないでください。
けがの原因となります。

ご使用の前に (続き)

5 セットしたカッターホルダーをガラスジャーに取り付ける。



⚠ 注意

カッターホルダーは確実にガラスジャーに取り付けてください。
液漏れ・けがの原因となります。

調理できない食材

以下の「調理できない食材」を入れると、ガラスジャー・カッターなどが破損し、本体故障の原因となります。

家庭用の冷凍庫で作った 2.5cm 角以上の氷・ロックアイス（市販の氷）・ドライアイス・業務用製氷機で作った氷
粘り気の強い食材（山芋、やまと芋、つくね芋、納豆など）
肉・魚類のミンチ
泡立てやパンなどの生地作り
固いもの（生のじゃがいも、さつまいも、かぼちゃ、など）
乾物（朝鮮人参、ウコン、コーヒード、ごま、煮干、アーモンド、乾燥昆布、香辛料など）
高温の油

※冷凍された食材は、少し解凍してからご使用ください。

食材の下準備

食材は約 2cm 角に切ってから入れてください。

※にんじんなどの固い食材は 1cm 角に切ってください。

使いかた

1 ガラスジャーの最大調理容量を超えないように食材を入れる。

●量が多いときは、何回かに分けてご使用ください。

※氷は必ず液体と一緒にに入れてください。

氷は5個(2.5cm角以下の大きさ)までとし、1(低速モード)で調理してください。

①液体

②やわらかい食材

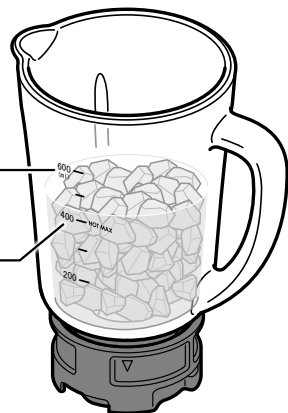
③固い食材

④氷(必要な場合)

の順に食材を入れてください。

最大調理容量
(600mL)

HOT MAX ライン
(400mL)



警告

- ガラスジャーの中に調理食材以外のものを入れないでください。けが・故障の原因となります。
- カッターに直接手を触れないでください。けがの原因となります。
- 最大調理容量(600mL)を超える食材を入れないでください。故障・破損・けがの原因となります。
- 調理できない食材を使わないでください。故障・破損の原因となります。調理できない食材は12ページを参照してください。



注意

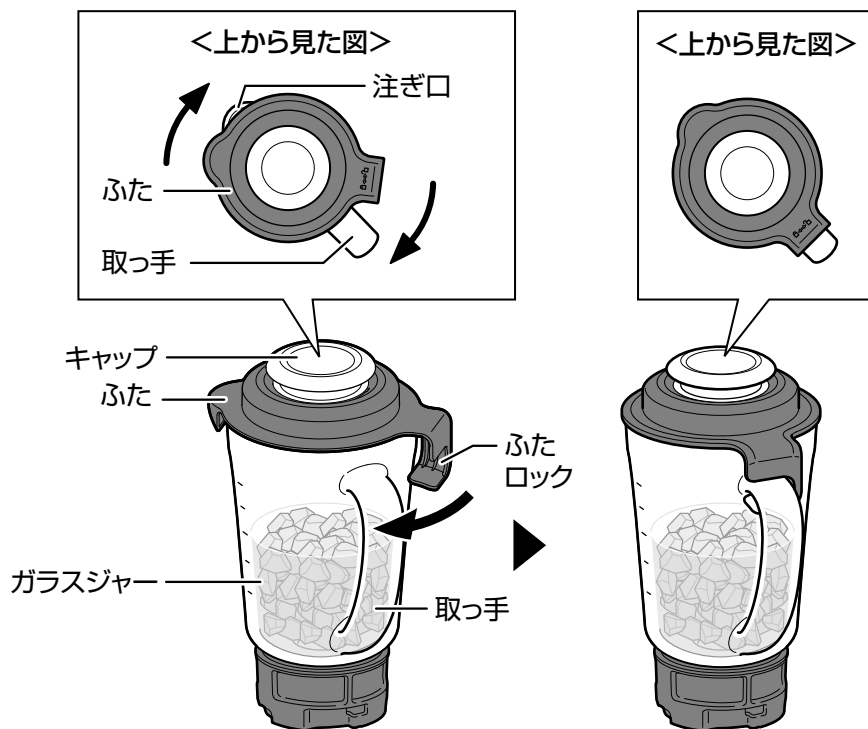
60℃以上の熱い食材、膨張する食材は、HOT MAX ライン(400mL)以上の量を入れないでください。吹きこぼれ・けが・やけどの原因となります。

- 食材やお湯など、HOT MAX ライン(400mL)を超える量を入れないでください。
- ふたとキャップのすき間から熱い蒸気や熱い食材が出るおそれがありますのでやけどにご注意ください。
- 食材をガラスジャーに入れるときは、食材によるやけどにご注意ください。食材や液体が突然蒸発し、外に吹き出すおそれがあります。けが・やけどの原因となります。
- 食材を入れるとガラスジャーが熱くなるのでやけどにご注意ください。

使いかた (続き)

2 ふたをする。

- ふたをガラスジャーにセットし、取っ手にはまるまで時計回りに回してロックしてください。
 - ふたは、注ぎ口、取っ手に確実にロックしてください。
- ※必ずキャップを取り付けてください。(10 ページ「組み立て」を参照にしてください。)



⚠ 注意

- ふたは注ぎ口、取っ手に確実に取り付けてください。調理中に吹きこぼれる原因となります。
- 60℃以上の熱い食材を入れたガラスジャーにふたを取り付けるときは、やけどにご注意ください。

③ 本体を水平で安定した、熱に強い場所に設置し、ガラスジャーを取り付ける。

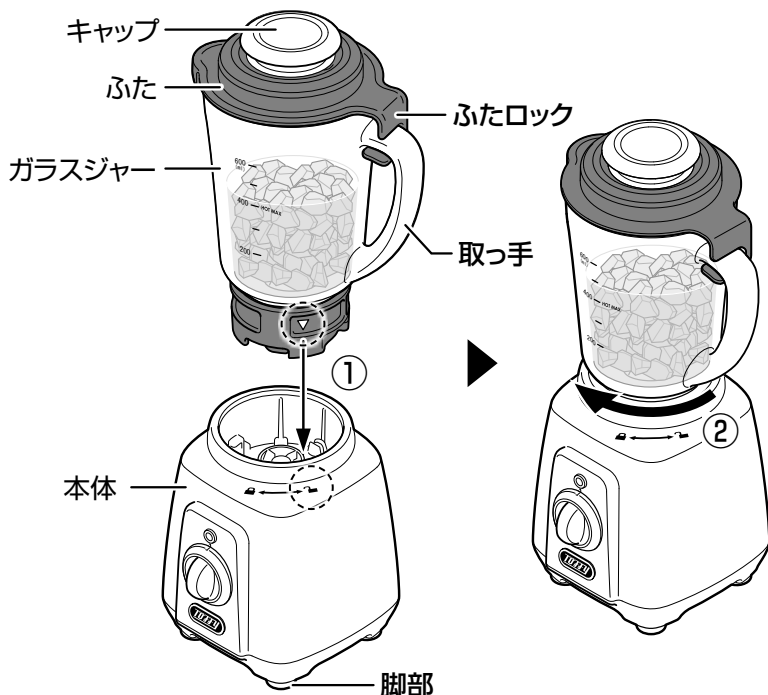
- 不安定・滑りやすい場所や水気・振動に弱いところで使用しないでください。けが・故障の原因となります。
- 脚部 4 つを接地させてください。
- 水がかからない場所に設置してください。
- 壁や家具の近くで使用しないでください。食材の飛び散りにより周囲を汚損する原因となります。

- ① ガラスジャーの ▼ マークを本体の ㊦ に合わせて差し込みます。
 - ② ガラスジャーを ㊧ マーク方向に回らなくなるまで回して取り付けます。
- ※ ガラスジャーが本体に正しく取り付けられていないと運転しません。



注意

- 強く回しすぎないでください。破損の原因となります。
- 60℃以上の熱い食材を入れたときは、ガラスジャーの取っ手を持って本体にセットしてください。けが、やけどの原因となります。



使いかた (続き)

4 操作スイッチがOFFの位置になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込む。



注意

- 電源コードは製品の下を通さないでください。
- 電源コードは束ねたまま・巻きつけたまま使用しないでください。

5 ガラスジャーの取っ手を手で押さえて操作スイッチを回す。

- 運転中は操作スイッチの上にある電源ランプが点灯します。
- ガラスジャーが本体に正しく取り付けられていないと、安全装置により運転しません。
- 調理物によってはキャップとふたのすき間からにじみ出てくる場合があります。調理物を減らし、再度使用してください。
- 食材の大きさによってカッターが回りにくくなる場合があります。PULSE（断続モード）で入切を繰り返しながら砕いてください。
- 食材が大きすぎるとカッターが回転しないことがあります。食材を小さく切って再度使用してください。
- 運転音が高くなったらカッターが空回りしている可能性があります。操作スイッチをOFFにし、完全に回転が止まってからガラスジャーを本体から取りはずし、ガラスジャーの中身をヘラなどで混ぜて再度使用してください。



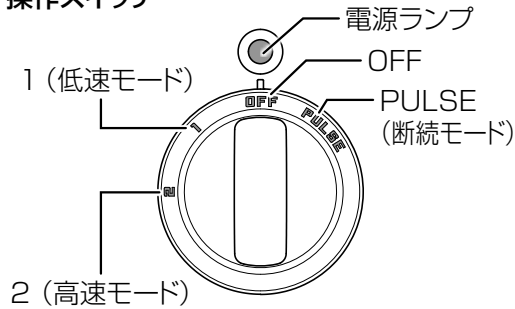
注意

- 空運転はしないでください。破損・故障の原因となります。
- 1回の使用時間は定格時間（2分）以内にしてください。定格時間以上ご使用になる場合は30分以上休ませた後、再度使用してください。故障・発煙・発火の原因となります。
- キャップ・ふたがしっかり取り付けられていない状態やキャップ・ふたをしていない状態で使用しないでください。けが・吹きこぼれの原因となります。

キャップやふたを押さえないでください



操作スイッチ



モード

OFF	電源を切ります。
PULSE (断続モード)	固い食材を粉碎するときの操作方法です。操作スイッチを回している間だけ運転されます。離すと操作スイッチがOFFに戻り、運転が止まります。
1 (低速モード)	食材を細かくしたり、なめらかにしたいときの操作方法です。
2 (高速モード)	



使いかた (続き)

⚠ 注意

60°C以上の熱い食材を調理するときは

- 動作中は、ふたとガラスジャーが熱くなるので直接手で触れないでください。
(ガラスジャーではなく取っ手を手で押さえてください。)
- ガラスジャーの取っ手を持つときは、やけどにご注意ください。
- 動作中は、ガラスジャーやふたに顔を絶対に近づけないでください。



食材や液体の追加をする場合

①キャップは反時計回りに回し、持ち上げて取りはずします。

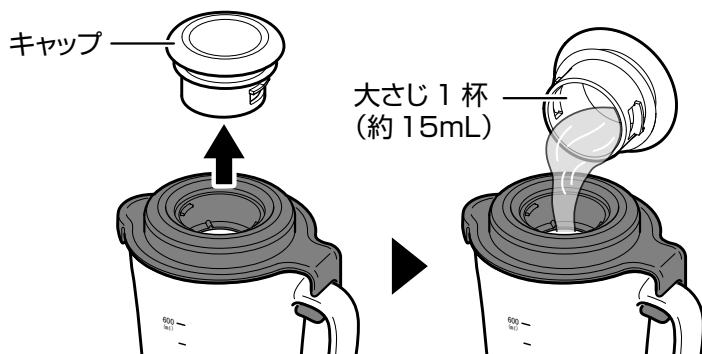
②食材を入れてキャップをふたに取り付けます。

(10 ページ「組み立て」を参照してください。)

●食材を入れすぎると、使用中に調理物があふれることがあります。最大調理容量 (600mL) を超える食材を入れしないでください。

※食材や液体を追加するときは、必ず操作スイッチを OFF にし、カッターの回転が完全に止まってからキャップやふたをはずしてください。

※ガラスジャーの中に指やスプーンなど食材以外のものを入れしないでください。けがの原因となります。



⚠ 注意

- 最大調理容量 (600mL) を超える食材を入れしないでください。
故障・破損・けがの原因となります。
- 60℃以上の熱い食材、膨張する食材は、HOT MAX ライン (400mL) 以上の量を入れしないでください。
吹きこぼれ・けが・やけどの原因となります。
- キャップ・ふたがしっかり取り付けられていない状態やキャップ・ふたをしていない状態で使用しないでください。
けがの原因となります。

使いかた (続き)

6 調理が終了したら、操作スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜く。

- 調理物を取り出し、お手入れをしてください。そのままにしておくと、ガラスジャーやパッキンに付いた汚れが取れにくくなり、カッターなどに悪影響があります。

注意

- ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
- 固い食材を調理するときに、カッターが破損することがあります。カッターを取り出した際に、カッターに傷、刃こぼれなどを発見された場合は破片が食材に混入している可能性がありますので、食材は使わずに廃棄してください。
けがの原因となります。
- ガラスジャーに調理物を入れたまま保存しないでください。
部品の劣化・故障の原因となります。

お手入れのしかた

調理が終わった後、必ず毎回お手入れして乾燥させてください。
部品をそのままにしておくと、劣化や破損の原因となります。

⚠ 注意

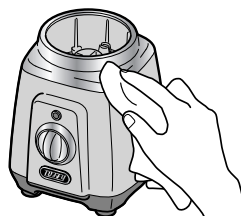
- お手入れの際は必ず操作スイッチを OFF の位置にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災・けが・やけどの原因となります。
- お手入れのときは、シンナー・ベンジン・アルコール・研磨剤、塩素系成分を含んだ洗剤などを使用しないでください。
変色・変形・感電・破損の原因となります。

お願い

本体とガラスジャー以外の水洗いできる部品は、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。
変色・変形・劣化や破損などの原因となります。耐熱温度は各部品によって異なりますが、ガラスジャー以外の水洗いできる部品は 60°C 以上のお湯でお手入れしないでください。

本体

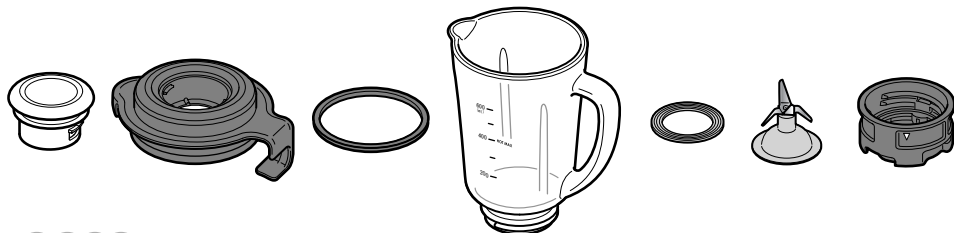
汚れたときは湿らせた布で拭きます。
長時間汚れたままにしておくと、汚れが取れなくなることがあります。



キャップ・ふた・ふたパッキン・ガラスジャー・カッターパッキン・カッター・カッターホルダー

柔らかなスポンジに、食器用洗剤をうすめた水を含ませて洗います。

- 洗浄後は、流水で洗剤を流した後、乾いた布で水分を拭き取り、乾燥させてください。水分が残っていると、不衛生になったり、サビの原因となります。



ポイント

- カッターやガラスジャー内部の汚れがひどい場合は、食器用洗剤を数滴入れたぬるま湯（30°C 程度）をガラスジャーの 1/3 ぐらいまで入れて約 10 秒間運転します。その後、よく水洗いして乾燥させてください。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグが正しくコンセントに取り付けられていない。	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。
動作しない	ガラスジャーが本体に正しく取り付けられていない。	ガラスジャーを本体に正しく取り付けてください。→ 15 ページ
途中で止まってしまう	食材が大きすぎる。	食材を小さくしてください。 → 12 ページ
	最大料理容量 (600mL) を超える食材やカッターの回転の妨げになる量の固形物を入れている。	固い食材を取り除いてください。 → 12 ページ
	調理できない食材を使っている。	調理できない食材を使用しないでください。→ 12 ページ
	長時間 (定格時間以上) 使用している。	本体を 30 分以上休ませた後、再度ご使用ください。
モーターの音が大きい、調理できない、調理時間が長い	食材が多すぎる。	食材を減らしてください。
	食材が大きすぎる。	食材を小さくしてください。 → 12 ページ
	食材が固すぎる。	固い食材を取り除いてください。 → 12 ページ
	カッターが変形・破損している。	変形した場合は交換してください。
	食材が片寄っている。	食材を均一にならしてください。
食材があふれてくる	ふたパッキンが正しく取り付けられていない。	ふたパッキンを正しく取り付けてください。→ 10 ページ
	最大料理容量 (600mL) を超える食材やカッターの回転の妨げになる量の固形物を入れている。	食材を減らしてください。
	キャップが正しく取り付けられていない。	キャップを正しく取り付けてください。 → 10 ページ
	ふたが正しくロックされていない。	ふたは、ガラスジャーの注ぎ口、取っ手に確実にロックしてください。 → 14 ページ
	60℃以上の熱い食材、膨張する食材を、HOT MAX ライン (400mL) 以上入れている。	食材を減らしてください。

こんなとき	原因	対処方法
食材がうまく混ざらない	ガラスジャーの壁面に食材がついている。	操作スイッチを OFF にし、完全に回転が止まってからガラスジャーを本体から取りはずし、ガラスジャーの中身をへらなどで混ぜて再度使用してください。
	調理時間が短すぎる。	調理時間を長くしてください。
水漏れ	カッターパッキンが正しく取り付けられていない。	カッターパッキンを正しく取り付けてください。→ 11 ページ
カッターが空回転してしまう	食材の組み合わせなどにより、食材が容器まわりに付いてしまったり、分離することがあります。	操作スイッチを OFF にし、完全に回転が止まってからガラスジャーを本体から取りはずし、ガラスジャーの中身をへらなどで混ぜて再度使用してください。
	食材が少なすぎる。	食材を多くしてください。

長期間ご使用の耐熱ガラスブレンダーは定期的な点検をお願いします

- ・ 電源コードが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深い傷などがある。
- ・ 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ・ そのほか異常や故障がある。



このような症状が出た、発見したときには、すぐに使用を中止してください。

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて
株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

製品仕様

品名	Toffy 耐熱ガラスブレンダー
品番	K-BD5
外形寸法	約 155(W) × 335(H) × 144(D)mm
電源	AC100V 50-60Hz
定格消費電力	200W
最大調理容量	600mL (ホット: 400mL)
重量	約 1,730g
定格時間	2分
回転数 (無負荷時)	高速モード: 約 21,500 回 / 分、低速モード: 約 20,500 回 / 分
電源コード長	約 0.9m
生産国	中国
付属品	ユーザーズガイド (保証書含む)

※ 商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※ この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

※ 「Toffy」は(株)ラドンナ、(株)キングジムの登録商標です。